

## 日本農業復興へのシナリオ

農業的確化法人グリニッシュは地方創生事業の一環として、将来農業で独立して、近代的で明るい農家ファミリーを形成できる男女を正社員として募集する。家を持ち、安定した年収を得て、楽しい農家ファミリーを作るための教育を提供し、明るい農家の夢を実現させる。

日本には使っていない農地が農地全体の10%を越え、その大きさを合計すると琵琶湖を含む滋賀県と同じ大きさになる。



日本の耕作放棄地はその合計面積が、琵琶湖を含む滋賀県全域に匹敵するようになってしまった。農業的確化法人グリニッシュは、その耕作放棄地を利用してハーブを育て、加工して、ハーブカフェで直販する。ハーブの多くは直射日光が嫌いだから、作物の上にソーラーパネルを敷き詰めると育成状態が向上する、さらにそのパネルが発電することになるから、電力と作物の販売は年間600万円程度になるはずだ。生産されたハーブは全量ハーブ業界の最大手カリス成城が買い取る契約になっている。これで農家としての生活は成り立つので、あとはお婿さんやお嫁さんが来るのを待つばかりである、農地の上に家を建てられる特権を行使して、持ち家付きの農家生まれる。子供の笑い声も聞こえてくる地方創生が躍動し始める。



しかし、いきなり農家になることに不安があるのなら、グリニッシュの研修制度を利用すればよい、農業的確化法人のグリニッシュはそんな農家を目指す男女を育成する研修プログラムを発表した。

## グリーンリッシュ農業研修プログラム

給与期間 3年間月額最低保証金額 16万 社会保険完備

労働時間 週36時間以上 それを超過した労働には超過時間給が支払われます。

実習科目、農作物栽培、農作物販売、農業施設建設、自然再生エネルギー構築 食品加工

学習科目 農業経営論、エネルギー概論、環境概論、グループディスカッション

受講料 月額1万円